

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表



社団法人

建設荷役車両安全技術協会

ま え が き

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態であることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、平成12年から「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供し、今般、改訂第2版を発行することとしました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の商品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの賛同を得て、ここに代表機種の「検査・整備基準値表」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨にご賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成18年1月

(社)建設荷役車両安全技術協会
会 長 高 田 浩 之

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表の作成にご尽力くださった方々は次のとおりです。

委員長 岡 部 元 一 極東開発工業 株式会社

委 員 稲 田 義 明 三菱重工業 株式会社

〃 近 藤 澄 男 株式会社 岩田商会

〃 清 水 正 樹 石川島建機 株式会社

〃 隅 田 哲 夫 株式会社 シンテック

〃 千 田 新太郎 プツマイスタージャパン 株式会社

〃 舟 井 克 輝 株式会社 大一・テクノ

事務局 下 田 昇 社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〃 片 井 康 隆 〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ね ミニ、小型、中型の 3 サイズに分類してあり、要すれば各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに 2 ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には 2 ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。
- (4) 同一製品が OEM 供給元と OEM 供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成 17 年 8 月末現在迄に日本国内において製造又は販売されているモデルを極力収録してあります。

この時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

収録からもれてしまったモデル又は収録以降の新規モデルについては、今後定期的に行う改訂版の発行の際に収録し掲載する予定です。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、コンクリートポンプ車（トラック式ブーム車・配管車）の小型・中型・大型を収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成 5 年 12 月付け公示 16 号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2) 「新車基準値」の表記

「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に＊を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

目 次

石川島建機	IPF50TE-4N～	2
	IPJ70B-4N18～	6
	IPH20B-1N13～	10
岩田商会	IC-40H～	16
極東開発工業	PT50-10(11)～	22
シンテック	MKW-35CB～	40
大一・テクノ	DCP-35SL～	46
新潟鐵工所	NCP7FB～	52
プツマイスタージャパン	BSF2107HP～	58
三菱重工業	DC-M700BR～	64

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h 50	90	50	50
			最大吐出圧力	MPa 4.4	7.1/4.6	4.6	4.6
			7°-4最大地上高	m —	—	14/16	17
		適用号機		IPA33001～	IPA35001～	IPA26001～ IPF11001～	IPA66001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	40±1	37/26±1	40±1	36±1
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	32±2	32±2	32±2	32±2
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量					
		ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	1
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)
		(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	—	—	19±10	19±10
		縮み	sec	—	—	45±10	45±10
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (2) 伸び	sec	—	—	30±10	30±10
		縮み	sec	—	—	45±10	45±10
		ブーム (3) 伸び	sec	—	—	30±10	30±10
		縮み	sec	—	—	30±10	30±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	30±10
		縮み	sec	—	—	—	30±10
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(°C)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	—	—	—	—
			水压 MPa	2.5	3.9	2.5	3.9
	空圧機	吐出圧力	m	—	—	—	—
			MPa	0.7(7°シヨ)	0.7(7°シヨ)	0.7(7°シヨ)	0.7(7°シヨ)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/ 4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29		
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁		
90	100/64	100/64	100/64	100	100		
4.6	8.0/5.2	8.0/5.2	8.0/5.2	5.9	5.9		
21	21	21	26	27	29		
IPA40001~ IPA42001~	IP97001~	IPA55001~	IPF12001~	IP98001~ IPA37001~	IPA59001~		
検 査 基 準 値							
41±1 —	41/26±1 —	36/25±1 —	35/22±1 —	40/36±1 —	32±1 —		
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		
36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10		
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
—	—	—	—	—	—		
1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —		
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]		
45±10 70±10	45±10 70±10	45±10 70±10	40±10 60±10	75±10 75±10	75±10 75±10		
50±10 60±10	50±10 60±10	50±10 60±10	60±10 60±10	80±10 80±10	80±10 80±10		
50±10 45±10	50±10 45±10	50±10 45±10	60±10 60±10	70±10 70±10	70±10 70±10		
— —	— —	— —	50±10 50±10	— —	— —		
— —	— —	— —	— —	— —	— —		
(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]		
— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —		
0.7 (オフショ)	0.7 (オフショ)	0.7 (オフショ)	0.7 (オフショ)	0.7 (オフショ)	0.7 (オフショ)		
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)		

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4	
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h	50	90	50	50
			最大吐出圧力	MPa	4.4	7.1/4.6	4.6	4.6
			ブーム最大地上高	m	—	—	14/16	17
		適用号機		IPA33001～	IPA35001～	IPA26001～ IPF11001～	IPA66001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	23.5	27.4	23.5	23.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	11.8	10.3	11.8	11.8	
		かくはんモータ油圧	MPa	14.7	14.7	14.7	14.7	
		ブーム油圧	MPa	—	—	24.5	24.5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	5.9	5.9	5.9	5.9	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	157+10	176+10	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	157+10	265+10	
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	3	3	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	100±10	110±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	☆アウトリガ	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	
特記事項				エンジン駆動 電動機駆動切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き	号機により ブーム長さが異なる		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/ 4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29		
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁		
90	100/64	100/64	100/64	100	100		
4.6	8.0/5.2	8.0/5.2	8.0/5.2	5.9	5.9		
21	21	21	26	27	29		
IPA40001～ IPA42001～	IP97001～	IPA55001～	IPF12001～	IP98001～ IPA37001～	IPA59001～		
検 査 基 準 値							
27.4	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9		
10.3	10.3	10.3	13.7	10.3	17.6		
14.7	14.7	14.7	14.7	14.7/15.7	15.7		
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9		
6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4		
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
186+10	186+10	186+10	186+10	353+10	353+10		
265+10	265+10	265+10	353+10	353+10	353+10		
3	3	3	3	3	3		
120±10	120±10	120±10	120±10	165±10	165±10		
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)		
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
1	1	1	1	1	1		
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]		
	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	吐出圧力 高低圧切替機 能付き	号機によりピ ストンストロ ークが異なる			

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPJ70B-4N18	IPG70B-5N17W	IPG90T-12E	IPG115B-8E26/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h 70	70	90/50	115/74
			最大吐出圧力	MPa 4.1	4.7	11.8/6.6	7.0/4.5
			ブーム最大地上高	m 18	17	—	26
		適用号機		IPG15001~ IPG15501~	IPG25001~	IPG11001~	IPA69001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	34±1	34±1	33/18±1	35/22±1
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
	かくはん装置	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		回転速度	min ⁻¹	25/18±2	18±2	36±2	36±2
	真空ポンプ	チェーンのたわみ	mm	—	—	15±10	15±10
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	シリンダ	圧力設定値	kPa	—	—	—	—
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		圧力降下許容値	kPa	—	—	—	—
	自然降下量	(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
		ブーム(1)シリンダ	mm	1	1	—	1
作業装置	ブーム	ブーム(2)シリンダ	mm	1	1	—	1
		ブーム(3)シリンダ	mm	1	1	—	1
		ブーム(4)シリンダ	mm	—	—	—	1
	☆ブームシリンダ	ブーム(5)シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(—)	(10)
		(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No.]	[図 No. 1]
	☆ブームシリンダ	ブーム(1)伸縮	sec	50±10	50±10	—	40±10
		ブーム(2)伸縮	sec	50±10	50±10	—	60±10
		ブーム(3)伸縮	sec	40±10	40±10	—	60±10
	☆ブームシリンダ	ブーム(4)伸縮	sec	75±10	75±10	—	60±10
		ブーム(5)伸縮	sec	40±10	40±10	—	60±10
		ブーム(6)伸縮	sec	55±10	55±10	—	60±10
	☆ブームシリンダ	ブーム(7)伸縮	sec	—	—	—	50±10
		ブーム(8)伸縮	sec	—	—	—	50±10
		ブーム(9)伸縮	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ	ブーム(10)伸縮	sec	—	—	—	—
		ブーム(11)伸縮	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(—)	(2000)
	☆ブームシリンダ	(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(—)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No.]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ(配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	0.3(電動ポンプ)	3.9	—	—
		油圧水圧飛距離	m	—	—	9.8	3.9
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
洗浄装置	空圧機	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

IPG90B-12E26/ 4	IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPJ115B-6N30	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/ 4	IPG125B-6N33/ 4	IPG135B-6N36/ 4
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
87/48	115	115/74	115	115/74	125	125	135
11.7/6.5	5.2	7.0/4.5	6.3	7.0/4.5	6.4	6.4	6.4
26	29	29	30	30	33	33	36
IPG24001～	IPA75001～	IPA76001～	IPG14001～	IPG20001～	IPG19001～	IPG19129～	IPG18001～
検 査 基 準 値							
34/19±1 —	35±1 —	35/22±1 —	35±1 —	35/22±1 —	32±1 —	33±1 —	28±1 —
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	32±2 15±10	36±2 15±10
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
40±10 60±10	75±10 75±10	75±10 75±10	75±10 75±10	75±10 75±10	60±10 85±10	70±10 85±10	75±10 75±10
60±10 60±10	80±10 80±10	80±10 80±10	80±10 80±10	80±10 80±10	120±10 120±10	80±10 120±10	120±10 120±10
60±10 60±10	70±10 70±10	70±10 70±10	70±10 70±10	70±10 70±10	120±10 120±10	80±10 120±10	120±10 120±10
50±10 50±10	— —	— —	— —	— —	45±10 60±10	45±10 60±10	45±10 45±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]
— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —	— 3.9 —
0.7(オフ・シヨソ)	0.7(オフ・シヨソ)	0.7(オフ・シヨソ)	0.7	0.7(オフ・シヨソ)	0.7(オフ・シヨソ)	0.7(オフ・シヨソ)	0.7(オフ・シヨソ)
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)

適用範囲		モデル名		IPJ70B-4N18	IPG70B-5N17W	IPG90T-12E	IPG115B-8E26/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	70	70	90/50
			最大吐出圧力	MPa	4.3	4.7	11.8/6.6
			7°-A最大地上高	m	18	17	—
		適用号機		IPG15001～ IPG15501～	IPG25001～	IPG11001～	IPA69001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.4	30.9	32.7	30.9
		弁シリンダ油圧	MPa	11.8	11.8	14.3/17.9	13.7
		かくはんモータ油圧	MPa	12.7	12.7	15.3	14.7
		ブーム油圧	MPa	27.4	27.4	—	30.9
		ACCガス封入圧力	MPa	5.9	5.9	9.2	6.4
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	392+10	392+10	—	186+10
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	686+10	686+10	—	353+10
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	—	3
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	150±10	150±10	—	120±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(—)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(—)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(—)	(50 ± 5)
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項						吐出圧力 高低圧切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPG90B-12E26/ 4	IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPJ115B-6N30	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/ 4	IPG125B-6N33/ 4	IPG135B-6N36/ 4
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
87/48	115	115/74	115	115/74	125	125	135
11.7/6.5	5.2	7.0/4.5	6.5	7.0/4.5	6.4	6.4	6.4
26	29	29	30	30	33	33	36
IPG24001～	IPA75001～	IPA76001～	IPG14001～	IPG20001～	IPG19001～	IPG19129～	IPG18001～
検 査 基 準 値							
30.9/23.5	30.9	30.9	27.4	30.9	30.9	30.9	30.9
13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7	13.7
14.7	14.7	14.7	14.7	10.8	14.7	14.7	14.7
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9
6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(1800)	(2000)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
186+10	353+10	353+10	353+10	353+10	426+10	426+10	426+10
353+10	353+10	353+10	353+10	353+10	426+10	426+10	426+10
3	3	3	3	3	3	3	3
120±10	165±10	165±10	165±10	165±10	200±10	200±10	200±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(1800)	(2000)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
吐出圧力 高低圧切替機 能付き 主油圧リリーフ 2段切替		吐出圧力 高低圧切替機 能付き		吐出圧力 高低圧切替機 能付き			

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h 20	30	30	30
			最大吐出圧力	MPa 1	1	2.0	2
			ブーム最大地上高	m 13	14	15	16
		適用号機		IPA11001～	IPA13001～	IPA45001～ IPA81001～	IPB11001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	36±1	36±1	36±1	33±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	25±2	25±2	25±2	25±2
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	40±10	40±10	40±10	40±10
		ブーム (1) 縮み	sec	45±10	45±10	45±10	45±10
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (2) 伸び	sec	50±10	50±10	50±10	50±10
		ブーム (2) 縮み	sec	55±10	55±10	55±10	55±10
		ブーム (3) 伸び	sec	45±10	45±10	45±10	45±10
		ブーム (3) 縮み	sec	55±10	55±10	55±10	55±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		油圧水圧 飛距離	MPa m	0.2(電動ポンプ) —	0.2(電動ポンプ) —	0.2(電動ポンプ) —	0.2(電動ポンプ) —
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

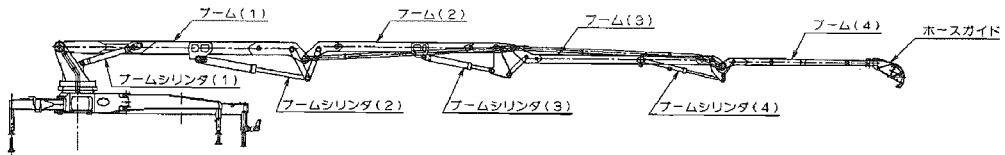
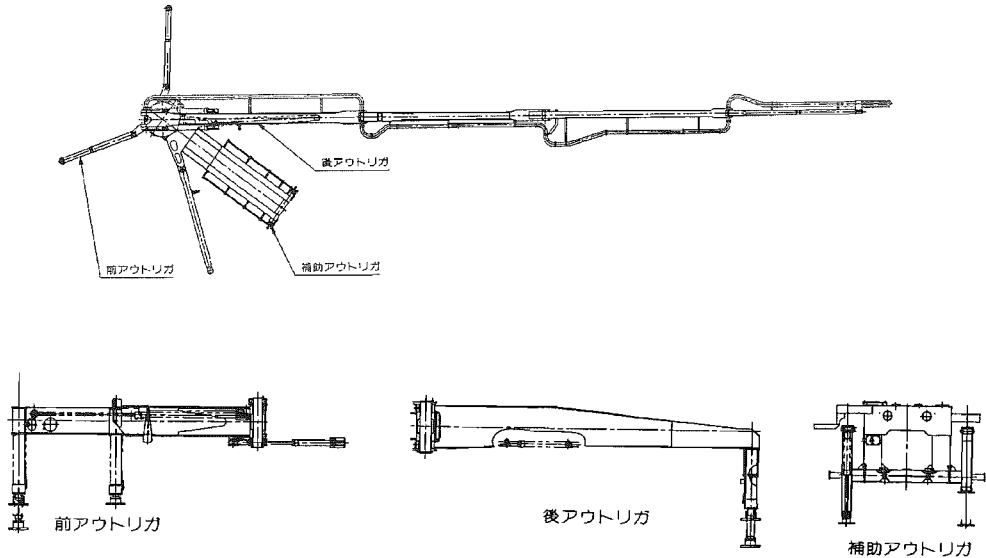
IPH40B-2N16	IPH50B-2N16	IPH55B-2N16					
スクイズ	スクイズ	スクイズ					
40/28	50	55					
2.0/1.3	2.0	2.0					
16	16	16					
IPB11501～	IPA36001～	IPA52001～					
検 査 基 準 値							
— 33/22±1	— 36±1	— 36±1					
(1800) (—) (50 ± 5)	(1650) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)					
25±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10					
(1800) (—) (50 ± 5)	(1650) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)					
— (—)	— (—)	— (—)					
— (—)	— (—)	— (—)					
—	—	—					
1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 — —					
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]					
40±10 45±10	40±10 45±10	40±10 45±10					
50±10 55±10	50±10 55±10	50±10 55±10					
45±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10					
— —	— —	— —					
— —	— —	— —					
(1800) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1650) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1600) (50 ± 5) [図 No. 3]					
— 0.2(電動ポンプ) —	— 0.2(電動ポンプ) —	— 0.2(電動ポンプ) —					
—	—	—					
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)					

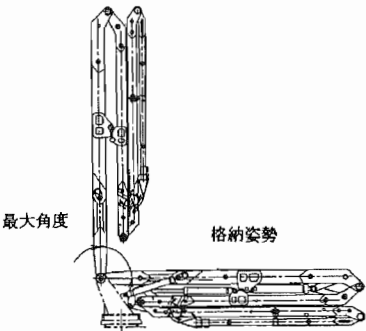
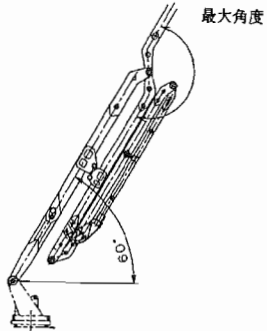
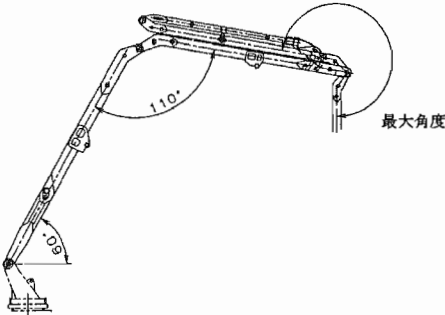
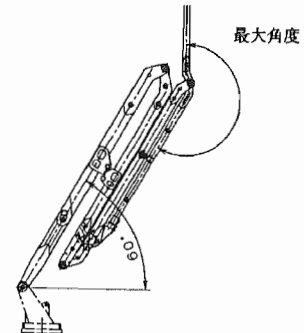
適用範囲		モデル名		IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	30	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1	1	2.0	2
			ブーム最大地上高	m	13	14	15	16
		適用号機		IPA11001～	IPA13001～	IPA45001～ IPA81001～	IPB11001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	19.6	19.6	18.1	20.6	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	6.9	8.3	8.3	10.8	
		ブーム油圧	MPa	15.7	15.7	19.6	20.6	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
車体・安全装置	☆旋回装置	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	176+10	176+10	176+10	157+10	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	176+10	176+10	176+10	157+10	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	80±10	80±10	90±10	90±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	
	特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPH40B-2N16	IPH50B-2N16	IPH55B-2N16					
スクイズ	スクイズ	スクイズ					
40/28	50	55					
2.0/1.3	2.0	2.0					
16	16	16					
IPB11501～	IPA36001～	IPA52001～					
検 査 基 準 値							
20.6	20.6	20.6					
—	—	—					
10.8	7.8	7.8					
20.6	24.5	24.5					
—	—	—					
(1800)	(1650)	(1600)					
(—)	(—)	(—)					
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
159+10	157+10	157+10					
159+10	157+10	157+10					
3	3	3					
90±10	80±10	80±10					
(360)	(360)	(360)					
(1800)	(1650)	(1600)					
(—)	(—)	(—)					
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)					
1	1	1					
(10)	(10)	(10)					
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]					
ロータ回転数 2段切替機能 つき							

石川島建機

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照) 
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、アウトリガ真上位置に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークを作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
	ブーム (1) 計測姿勢  ブーム (2) 計測姿勢  ブーム (3) 計測姿勢  ブーム (4) 計測姿勢 	
旋回作動速度	アウトリガを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360°旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢
		

岩 田 商 会

適 用 範 囲		モ デ ル 名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40B II
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	40	55	40
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	2.16	2.16	2.16
			7°-A最大地上高	m	—	—	12
		適 用 号 機					
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
業 装 置	圧 送 装 置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	40	40	40	40
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回 転 速 度	min ⁻¹	36±2	36±2	36±2	36±2
		チェーンのたわみ	mm	15	15	15	15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真 空 ポ ン プ	圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)	kPa (min)	67.8 (10)	67.8 (10)	67.8 (10)	67.8 (10)
		圧力降下許容値 (保 持 時 間)	kPa (min)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)
		Vベルトのたわみ	mm	15~20	—	—	—
	シリンダ 自然降下量 ブ ー ム 装 置	ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測 定 時 間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)
		(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸 び	sec	—	—	32±5	32±5
		ブーム (1) 縮 み	sec	—	—	38±5	38±5
		ブーム (2) 伸 び	sec	—	—	25±5	25±5
		ブーム (2) 縮 み	sec	—	—	28±5	28±5
		ブーム (3) 伸 び	sec	—	—	35±5	35±5
		ブーム (3) 縮 み	sec	—	—	40±5	40±5
		ブーム (4) 伸 び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮 み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸 び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮 み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)
		(作 動 油 温 度)	(°C)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
洗 浄 装 置	水 ポ ン プ (配管洗浄用)	吐 出 圧 力	MPa	—	—	—	—
		油 圧	MPa	0.17	0.17	0.17	0.17
		水 圧	MPa	5	5	5	5
	空 圧 機	飛距離	m	—	—	—	—
		吐 出 圧 力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-55B II	IC-60B-18L
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
50	50	45	55	55	55	55	60
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	16	18
検 査 基 準 値							
— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40
(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)
36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15
(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)
67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)
15 ~ 20	—	—	—	—	—	—	—
3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5
25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5
35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]
— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40BⅡ	
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	40	55	40	50
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	2.16	2.16	2.16	2.16
			ブーム最大地上高	m	—	—	12	12
		適 用 号 機						
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値				
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	8.8±0.5	8.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5	20.5±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作 動 油 温 度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)			
車 体 ・ 安 全 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	旋回台取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	626(φ22)	626(φ22)	
		旋回ベアリング取付け ボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	569(φ20) 226(φ16)	569(φ20)	
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	3	3	
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	30±5	30±5	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(90)	(90)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	—	—	2	2	
		(測 定 時 間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]	
特 記 事 項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-55BⅡ	IC-60B-18L
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
50	50	45	55	55	55	55	60
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	16	18
検 査 基 準 値							
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	512 (φ 18)	626 (φ 22)	512 (φ 18) 683 (φ 24)
569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20) 226 (φ 16)	569 (φ 20)
3	3	3	3	3	3	3	3
30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5
(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)
(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
2	2	2	2	2	2	2	2
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]

岩 田 商 会

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下量	降下量 $W=A-B$ (測定箇所：右図①～③) ブームシリンダ	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 及びアウトリガ自然伸縮計測姿勢
アウトリガ 自然伸縮量	伸縮量 $W=A-B$ (測定箇所：右図④～⑦) アウトリガー	
ブームシリンダ 作動時間	図-2 ブーム作動速度計測姿勢	

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PY60-14/18	PT70-10(11)	PY75(A)-16	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	55	60	70	75
			最大吐出圧力	MPa	3.2(4.9)	4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)
			ブーム最大地上高	m	<ブーム無し>	14.3	<ブーム無し>	16
		適用号機		98P040001～	89P000001～ 97P	98P100001～	97P010001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	25±2	36±2	22±2	37±2
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100±50)	(2200±50)	(2200±50)	(1700±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)	(2172±50)	(1777±50)	(2070±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
		かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	22±2	31±3	22±2	27±2
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(2200±50)	(2200±50)	(1700±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)	(2172±50)	(1777±50)	(2070±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
		真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	Vベルトのたわみ		mm	—	—	—	—	
	ブーム装置		シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	—	0.5 以下	—
		ブーム (2) シリンダ		mm	—	0.5 以下	—	0.5 以下
		ブーム (3) シリンダ		mm	—	0.5 以下	—	0.5 以下
		ブーム (4) シリンダ		mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ		mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]
		☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	—	35±10	—	65±10
			ブーム (1) 縮み	sec	—	30±10	—	65±10
			ブーム (2) 伸び	sec	—	40±10	—	55±10
			ブーム (2) 縮み	sec	—	40±10	—	65±10
			ブーム (3) 伸び	sec	—	55±10	—	65±10
			ブーム (3) 縮み	sec	—	60±10	—	85±10
			ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
ブーム (4) 縮み			sec	—	—	—	—	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(1600)	(—)	(1700)		
	(作動油温度)	(℃)	(—)	(50±10)	(—)	(50±10)		
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[—]	[図 No. 3]	[—]	[図 No. 3]			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	27.5±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1	
		油圧	MPa	4.9	4.9	9.7	4.9	
		水圧	m	—	—	—	—	
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100±50)	(2200±50)	(2200±50)	(1700±50)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1777±50)	(2172±50)	(1777±50)	(2070±50)			
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PY75(B)-16A	PY75(A)-18	PY75A-19A	PY75B-19A	PT80-10	PY80-26H	PY21-10	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
75	75	75	75	80	80	100(70)	100(70)
3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	11.8(8.3)	12.3(8.3)	5.4(7.8)	5.4(7.8)
16	18	18.6	18.6	〈フーム無し〉	25.7	〈フーム無し〉	21.4
01P110001~	97P020001~	00P040001~	02P020001~	92P000001~	98P100001~	84P010001~ 96P	83P000001~ 84P
検 査 基 準 値							
37±2 —	37±2 —	37±2 —	37±2 —	38±2 —	38±2 —	25±2 —	32±2 —
(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1800±50) (2192±50) (50±10)	(2200±50) (1937±50) (50±10)
27±2 —	27±2 —	27±2 —	27±2 —	31±3 —	38±2 —	31±3 —	38±3 —
(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1800±50) (2192±50) (50±10)	(2200±50) (1937±50) (50±10)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	— — — — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	— — — — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]
65±10 65±10	40±10 65±10	55±10 55±10	55±10 55±10	— —	65±10 75±10	— —	60±10 65±10
55±10 65±10	35±10 65±10	65±10 80±10	65±10 80±10	— —	75±10 70±10	— —	85±10 85±10
65±10 85±10	30±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10	— —	50±10 90±10	— —	50±10 65±10
— —	— —	— —	— —	— —	30±10 40±10	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1700) (50±10) [図 No. 3]	(1700) (50±10) [図 No. 3]	(1700) (50±10) [図 No. 3]	(1700) (50±10) [図 No. 3]	(—) (—) [—]	(1400) (50±10) [図 No. 3]	(—) (—) [—]	(1600) (50±10) [図 No. 3]
27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 6.5 —	27.5±1 7.6 —	12.3±1 5.9 —	12.3±1 5.9 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (2070±50) (50±10)	(1700±50) (シャシで異なる) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1800±50) (2192±50) (50±10)	(2200±50) (1937±50) (50±10)

適用範囲		モデル名		PT50-10(11)	PY60-14/18	PT70-10(11)	PY75(A)-16
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h 55	60	70	75
			最大吐出圧力	MPa 3.2(4.9)	4.7	3.2(4.9)	3.2(4.9)
			7°-m最大地上高	m <7°-m無し>	14.3	<7°-m無し>	16
		適用号機		98P040001～	89P000001～ 97P	98P100001～	97P010001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	10.8±1
		ブーム油圧	MPa	—	20.6±1	—	27.4±1
		ACCガス封入圧力	MPa	—	6.2±0.3	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(2200±50)	(1800±50)	(1700±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(シャシで異なる)	(2172±50)	(1777±50)	(2070±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	294±9.8	—	294±9.8
		取付けボルトの締め付け	N・m	—	294±9.8	—	294±9.8
		旋回ボルトの交換周期	年	—	3	—	3
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	—	85±10	—	75±10
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(360・全旋回)	(—)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(1600)	(—)	(1700)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(1580)	(—)	(2070)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(50±10)	(—)	(50±10)
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [—]	(10) [図 No.2]
特記事項				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。			
					4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。		4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PY75(B)-16A	PY75(A)-18	PY75A-19A	PY75B-19A	PT80-10	PY80-26H	PY21-10	PY21-51
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
75	75	75	75	80	80	100(70)	100(70)
3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	3.2(4.9)	11.8(8.3)	12.3(8.3)	5.4(7.8)	5.4(7.8)
16	18	18.6	18.6	<ﾌﾟｰﾑ無し>	25.7	<ﾌﾟｰﾑ無し>	21.4
01P110001～	97P020001～	00P040001～	02P020001～	92P000001～	98P100001～	84P010001～ 96P	83P000001～ 84P
検 査 基 準 値							
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
10.8±1	10.8±1	10.8±1	10.8±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1
27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	—	27.5±1	—	20.6±1
—	—	—	—	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1
(1700±50) (ｼｬｯで異なる) (50±10)	(1700) (2070) (50±10)	(1700) (2070) (50±10)	(1700) (ｼｬｯで異なる) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1400±50) (1670±50) (50±10)	(1800±50) (2192±50) (50±10)	(2200±50) (1937±50) (50±10)
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	294±9.8	—	294±9.8
294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	294±9.8	—	294±9.8
3	3	3	3		3		3
75±10	75±10	75±10	75±10	—	155±10	—	110±10
(360・全旋回) (1700) (ｼｬｯで異なる) (50±10)	(360・全旋回) (1700) (2070) (50±10)	(360・全旋回) (1700) (2070) (50±10)	(360・全旋回) (1700) (ｼｬｯで異なる) (50±10)	(—) (—) (—)	(360・全旋回) (1400) (1670) (50±10)	(—) (—) (—)	(360・全旋回) (1600) (1409) (50±10)
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	—	0.5 以下
(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [—]	(10) [図 No. 2]	(—) [—]	(10) [図 No. 2]
1) 油圧ﾌﾟﾝﾌﾟ は斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送ｼｽﾃﾑの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。							
4) シﾘﾝﾀﾞ 耐圧ﾚｽﾄ時は先端荷重は無しとする。							

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h 100(70)	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa 5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)	4.6(6.6)
			ブーム最大地上高	m 21.4	29	29	25
		適用号機		84P000001~94P	84P020001~85P	85P000001~85P	89P010001~95P
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	32±2	32±2	32±2	32±2
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2200±50) (1937±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) 日野 日産 1937±50 いすゞ 三菱2172±50 (50±10)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	38±3	26±3	26±3	38±3
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2200±50) (1937±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) 日野 日産 1937±50 いすゞ 三菱2172±50 (50±10)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	シリンダ	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
	自然降下量	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	0.5 以下
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	60±10	85±10	85±10	85±10
		ブーム (1) 縮み	sec	65±10	60±10	60±10	80±10
		ブーム (2) 伸び	sec	85±10	170±10	170±10	100±10
		ブーム (2) 縮み	sec	85±10	185±10	185±10	125±10
		ブーム (3) 伸び	sec	50±10	105±10	105±10	105±10
		ブーム (3) 縮み	sec	65±10	120±10	120±10	150±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	60±10
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	85±10
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1600) (50±10) [図 No. 3]	(1500) (50±10) [図 No. 3]	(1600) (50±10) [図 No. 3]	(1600) (50±10) [図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	20.6±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1
			水压 MPa	5.9	5.9	5.9	5.9
			飛距離 m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(2200±50) (1937±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) 日野 日産 1937±50 いすゞ 三菱2172±50 (50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PY115 (A) -26	PY115-31	PY115-31A	PY120 (A) -33	PY120 (A) -36			
スイング*	スイング*	スイング*	スイング*	スイング*			
115	115	115	120	120			
4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)			
25.7	30.7	31	33	36			
95P000001~	92P010001~ 95P	96P000001~	97P000001~	96P010001~			
検 査 基 準 値							
32±2 —	32±2 —	32±2 —	32±2 —	26±2 —			
(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)			
38±2 —	38±2 —	38±2 —	38±2 —	38±2 —			
(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)			
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
—	—	—	—	—			
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —			
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]			
65±10 75±10	105±10 80±10	105±10 80±10	105±10 90±10	125±10 90±10			
75±10 70±10	80±10 95±10	80±10 95±10	115±10 100±10	150±10 120±10			
50±10 90±10	90±10 115±10	90±10 115±10	100±10 180±10	115±10 200±10			
30±10 40±10	65±10 90±10	65±10 90±10	35±10 70±10	50±10 85±10			
— —	— —	— —	— —	— —			
(1800) (50±10) [図 No. 3]	(1500) (50±10) [図 No. 3]	(1800) (50±10) [図 No. 3]	(1800) (50±10) [図 No. 3]	(1800) (50±10) [図 No. 3]			
27.5±1 4.9 —	20.6±1 5.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —	27.5±1 4.9 —			
—	—	—	—	—			
(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)			

適用範囲		モデル名		PY21-51A	PY21-60	PY21-60A	PY110-25
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100(70)	100(70)	110(75)
			最大吐出圧力	MPa	5.4(7.8)	5.4(7.8)	5.4(7.8)
			ブーム最大地上高	m	21.4	29	29
		適用号機		84P000001～94P	84P020001～85P	85P000001～85P	89P010001～95P
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.4±1	27.4±1	28.4±1
		ACCガス封入圧力	MPa	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200±50)	(1500±50)	(1500±50)	(2200±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937±50)	(1540±50)	(1540±50)	日野 日産 1937±50 いすゞ 三菱2172±50
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆旋回 旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	旋回台取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8
		旋回ベアリング取付け ボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	765±9.8	765±9.8	294±9.8
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	110±10	205±10	205±10	155±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1500)	(1600)	(1600)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1409)	(1540)	(1643)	日野 日産 1937 いすゞ 三菱2172
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	☆アウトリガー シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
特記事項				1)油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2)標準圧送システムの場合について示す。 3)自動給油は給油されていることを確認すること。			
				4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5)キャブ上、誤作動防止装置の作動確認すること	4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。	4)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PY115 (A)-26	PY115-31	PY115-31A	PY120 (A)-33	PY120 (A)-36			
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング			
115	115	115	120	120			
4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)	4.6(6.6)			
25.7	30.7	31	33	36			
95P000001~	92P010001~ 95P	96P000001~	97P000001~	96P010001~			
検 査 基 準 値							
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1			
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1			
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1			
27.4±1	28.4±1	28.4±1	28.4±1	28.4±1			
—	7.8±1	—	—	—			
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)			
(1777±50)	(1585±50)	(1585±50)	(1585±50)	(1489±50)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
294±9.8	—	—	—	—			
294±9.8	—	—	—	—			
3	3	3	3	3			
155±10	120±10	120±10	205±10	150±10			
(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)			
(1800)	(1500)	(1800)	(1800)	(1800)			
(1777)	(1320)	(1585)	(1585)	(1489)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下			
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)			
[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]			
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。							
2) 標準圧送システムの場合について示す。							
3) 自動給油は給油されていることを確認すること。							
4) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。							

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8
			ブーム最大地上	m	11	11	11
		適用号機		87P00001～	87P00001～	84P000001～90P	90P000001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	25±1	25±1	30±1	30±1
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1500±50) いすゞ1780±50 三菱 1500±50 (50±10)	(1500±50) いすゞ1780±50 三菱 1500±50 (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三菱 2000±50 (50±10)	(1750±50) いすゞ2080±50 三菱 1500±50 (50±10)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	18±3	18±3	26±3	22±3
		チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1500±50) いすゞ1780±50 三菱 1500±50 (50±10)	(1500±50) いすゞ1780±50 三菱 1500±50 (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三菱 2000±50 (50±10)	(1750±50) いすゞ2080±50 三菱 1500±50 (50±10)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)
		Vベルトのたわみ	mm	20・ベルト中央	20・ベルト中央	15～20・ベルト中央	15～20・ベルト中央
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量					
		ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	35±10	35±10	35±10	35±10
		ブーム (1) 縮み	sec	35±10	35±10	35±10	35±10
		ブーム (2) 伸び	sec	55±10	40±10	35±10	40±10
		ブーム (2) 縮み	sec	70±10	35±10	30±10	35±10
		ブーム (3) 伸び	sec	—	20±10	15±10	20±10
		ブーム (3) 縮み	sec	—	20±10	20±10	20±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1500) (50±10) [図 No. 3]	(1500) (50±10) [図 No. 3]	(1650) (50±10) [図 No. 3]	(1460) (50±10) [図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力 油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	— 1.2	— 1.2	— 1.8	— 1.8
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH35-11	PQ10-10	PH40-14	PH45-14/14A	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50-17
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
30	40	40	47	40	50	50	50
2.5	1.8	1.8	2.5	1.8	2.0	2.5	2.5
11	〈フーム無し〉	14	14	16	14	16	17
00P095005～	81P000001～	90P010001～	97P000001～	99P030001～	90P020001～	99P020001～ 99P	99P040001～
検 査 基 準 値							
— 36±1	— 40±1	— 40±1	— 36±1	— 44±1	— 36±1	— 40±1	— 40±3
(2000±50) いすゞ2340±30 三 菱 設定無し (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(2050±30) (2000±30) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)
30±3 20・チェン中央	29±3 20・チェン中央	21±3 20・チェン中央	28±3 20・チェン中央	25±3 20・チェン中央	25±3 20・チェン中央	23±3 20・チェン中央	30±3 20・チェン中央
(2000±50) いすゞ2340±30 三 菱 設定無し (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(2050±30) (2000±30) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)
0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)
0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)
(電動モータ駆動)	15～20・ハ°ル中央	15～20・ハ°ル中央	〈電動モータ駆動〉	(電動モータ駆動)	15～20・ハ°ル中央	(電動モータ駆動)	(電動モータ駆動)
0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	— — — — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 — —	0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 0.5 以下 —
(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
45±10 50±10	— —	40±10 35±10	52±10 60±10	35±10 30±10	38±10 30±10	55±10 60±10	60±10 60±10
40±10 55±10	— —	35±10 35±10	45±10 55±10	40±10 35±10	40±10 40±10	45±10 65±10	45±10 65±10
30±10 40±10	— —	50±10 55±10	32±10 45±10	50±10 60±10	50±10 55±10	40±10 60±10	45±10 60±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	20±5 30±5
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2000) (50±10) [図 No. 3]	(—) (—) [—]	(1530) (50±10) [図 No. 3]	(2000) (50±10) [図 No. 3]	(2050) (50±10) [図 No. 3]	(1770) (50±10) [図 No. 3]	(2160) (50±10) [図 No. 3]	(2160) (50±10) [図 No. 3]
— 1.8 —	— 1.8 —	— 1.8 —	— 1.8 —	— 1.8 —	— 2.0 —	— 2.5 —	— 2.5 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		PH20-11	PH20-11A	PH10-50, 50A	PH30-11	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	20	20	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1.2	1.2	1.8	1.8
			ブーム最大地上高	m	11	11	11	11
		適用号機		87P00001～	87P00001～	84P000001～ 90P	90P000001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	20.6±1	17.4±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7.4±1	7.4±1	8.8±1	7.4±1	
		ブーム油圧	MPa	17.2±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500±50)	(1500±50)	(2000±50)	(1750±50)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ1780±50 三菱1500±50	いすゞ1780±50 三菱1500±50	いすゞ2380±50 三菱2000±50	いすゞ2080±50 三菱1500±50		
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8	167±9.8	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付け	N・m	167±9.8	167±9.8	167±9.8	167±9.8	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	100±10	100±10	90±10	100±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1500)	(1500)	(1650)	(1460)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ1780 三菱1500	いすゞ1780 三菱1500	いすゞ2380 三菱2000	いすゞ1740 三菱1460	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		自然伸縮量	(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項				1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、オペレータに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH35-11	PQ10-10	PH40-14	PH45-14/14A	PH40-16	PH50-14	PH50-16	PH50-17
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
30	40	40	47	40	50	50	50
2.5	1.8	1.8	2.5	1.8	2.0	2.5	2.5
11	<ﾌﾟﾚｰﾑ無し>	14	14	16	14	16	17
00P095005～	81P000001～	90P010001～	97P000001～	99P030001～	90P020001～	99P020001～ 99P	99P040001～
検 査 基 準 値							
25.0±1	17.2±1	19.6±1	25.0±1	21.1±1	21.1±1	25±1	25±1
—	—	—	—	—	—	—	—
8.0±1	6.9±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1	7.4±1	8.0±1	8.0±1
27±1	—	20.6±1	27.1±1	27.1±1	20.6±1	27.1±1	27.1±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(2000±50) いすゞ2340±30 三 菱 設定無し (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(2000±50) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(2050±30) (2000±30) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)	(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)
325.6±9.8	—	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
325.6±9.8	—	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
3	3	3	3	3	3	3	3
60±10	—	140±10	75±10	75±10	100±10	75±10	55±10
(360・全旋回) (2000) いすゞ2340 三 菱 設定無し (50±10)	(—) (—) (—) (—)	(360・全旋回) (1530) (1490) (50±10)	(360・全旋回) (2000) いすゞ2380±50 三 菱 2000±50 (50±10)	(360・全旋回) (2050) (2000) (50±10)	(360・全旋回) (1770) (1720) (50±10)	(360・全旋回) (2160) いすゞ2570 三 菱 2160 (50±10)	(360・全旋回) (2160) いすゞ2570 三 菱 2160 (50±10)
0.5 以下	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
(10) [図 No.2]	(—) [—]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]
1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホールドに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。							
	4) 低圧時はミッション4速、高圧時は3速にする。 (PQ10-10)						

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65-19(A)(B)
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h 55	65	65	65
			最大吐出圧力	MPa 2	1.8	2.0	2.0
			7°最大地上高	m 16	18	19	19
		適用号機		85P000001~	91P000001~	99P000001~ 99P	99P050001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	40±1	35±1	35±1	35±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1530±30)	(1530±30)
	かくはん装置	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850±50)	(1820±50)	(1860±30)	(1860±30)
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		回転速度	min ⁻¹	28±3	21±3	21±3	21±3
	真空ポンプ	チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1530±30)	(1530±30)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850±50)	(1820±50)	(1860±30)	(1860±30)
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	シリンダ	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)
		圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)
		Vベルトのたわみ	mm	15~20・ベルト中央	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>
	ブーム	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
		ブーム (3) シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下
	☆ブームシリンダ 自然降下量	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	0.5 以下
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	35±10	45±10	55±10	55±10
		ブーム (1) 縮み	sec	30±10	60±10	55±10	55±10
		ブーム (2) 伸び	sec	40±10	45±10	65±10	65±10
		ブーム (2) 縮み	sec	35±10	65±10	80±10	80±10
		ブーム (3) 伸び	sec	50±10	30±10	45±10	45±10
		ブーム (3) 縮み	sec	60±10	50±10	55±10	55±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	20±5
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	30±5
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1660)	(1800)	(1530)	(1530)
		(作動油温度)	(°C)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	—	—	—	—
			水圧 MPa	2.0	1.8	—	—
			飛距離 m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

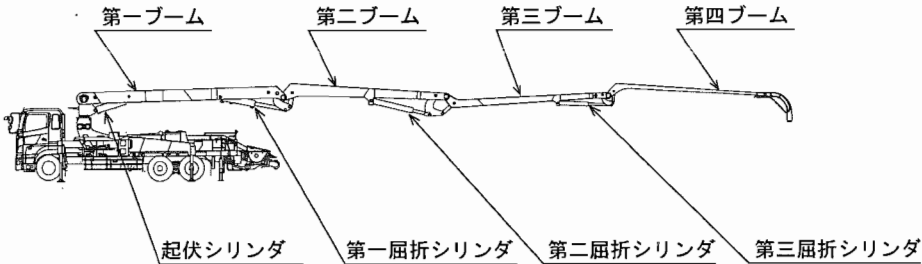
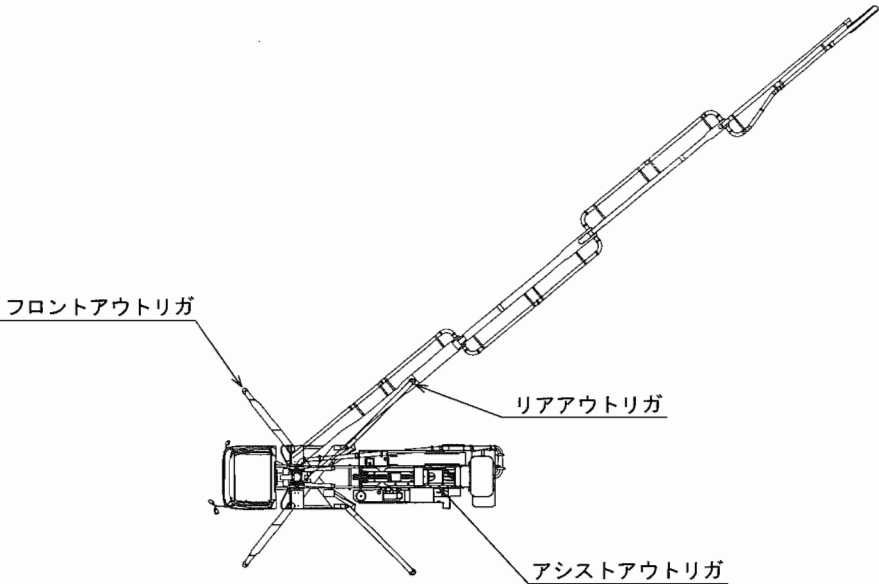
PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26/-26A	PH80-26B		
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ		
70	70	70	75	80	80		
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
	21.4	29	24.2	26	26		
81P000001～	81P000001～	85P010001～	89P000001～	96P000001～	96P000001～		
検 査 基 準 値							
—	—	—	—	—	—		
25±1	25±1	25±1	26±1	28±1	30±1		
(2200±50) (1930±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	(1700±50) (1490±50) (50±10)	(1850±50) (1840±50) (50±10)	(1940±50) (50±10)		
36±3 20・チェン中央	36±3 20・チェン中央	41±3 20・チェン中央	31±3 20・チェン中央	40±3 20・チェン中央	40±3 20・チェン中央		
(2200±50) (1930±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	(1700±50) (1490±50) (50±10)	(1850±50) (1840±50) (50±10)	(1940±50) (50±10)		
0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)	0.083 M (10分以内)		
0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)	0.007 M (60)		
5～10・ヘル中央	5～10・ヘル中央	5～10・ヘル中央	5～10・ヘル中央	<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>		
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
—	—	—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
—	—	—	—	—	—		
(—)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
[—]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]		
—	60±10	85±10	85±10	45±10	45±10		
—	65±10	60±10	80±10	60±10	60±10		
—	85±10	170±10	100±10	60±10	60±10		
—	85±10	185±10	125±10	70±10	70±10		
—	50±10	105±10	105±10	45±10	45±10		
—	65±10	120±10	150±10	95±10	95±10		
—	—	—	60±10	25± 5	25± 5		
—	—	—	85±10	40± 5	40± 5		
—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—		
(—)	(1600)	(1600)	(1600)	(1850)	(1940)		
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
[—]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]		
—	—	—	—	—	—		
2.5	2.5	2.5	2.5	—	—		
—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		

適用範囲		モデル名		PH11-50	PH65-18	PH65-19	PH65-19(A)(B)	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	55	65	65	65
			最大吐出圧力	MPa	2	1.8	2.0	2.0
			ブーム最大地上高	m	16	18	19	19
		適用号機		85P000001～	91P000001～	99P000001～99P	99P050001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	21.1±1	25.5±1	26.0±1	26.0±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7.4±1	6.9±1	8.0±1	8.0±1	
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	27.4±1	27.5±1	27.5±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1530±30)	(1530±30)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850±50)	(1820±50)	(1860±30)	(1860±30)		
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	125±10	100±10	75±10	75±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1660)	(1800)	(1530)	(1530)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1630)	(1820)	(1860)	(1860)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
	アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	(10) [図 No.2]	
特記事項				1) ホップ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホッパーに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2) 可変式油圧ホップの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。				
					1) ホップの非常停止ボタンの作動確認。 (PH65-18)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PQ14-10/11/11A	PH14-52	PH14-60	PH75-25	PH80-26/-26A	PH80-26B		
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ		
70	70	70	75	80	80		
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
0	21.4	29	24.2	26	26		
81P000001～	81P000001～	85P010001～	89P000001～	96P000001～	96P000001～		
検 査 基 準 値							
27.4±1	27.4±1	27.4±1	27.4±1	28.0±0.5	28.0±0.5		
—	—	—	—	—	—		
6.9±1	6.9±1	6.9±1	8.8±1	11.0±1	11.0±1		
20.6±1	20.6±1	27.4±1	28.4±1	28.1±1	28.1±1		
—	—	—	—	—	—		
(2200±50)	(2200±50)	(2200±50)	(1700±50)	(1850±50)	(1940±50)		
(1930±50)	(1930±50)	(1930±50)	(1490±50)	(1840±50)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8		
—	294±9.8	765±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8		
	3	3	3	3	3		
—	110±10	205±10	155±10	160±5	160±5		
(—)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)		
(—)	(1600)	(1600)	(1600)	(1850)	(1850)		
(—)	(1400)	(1400)	(1400)	(1840)	(1840)		
(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
—	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
(—)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		
[—]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]	[図 No.2]		
1)ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、ホールドに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2)可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3)シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。							
		4)キャブ上、誤動作防止装置の点検。(PQ14-60)					

極東開発工業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照) 
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガの真上に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)

シンテック

適用範囲		モデル名		MKW-35CB		MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動		平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35		55	55
			最大吐出圧力	MPa	40.9		42.6	42.6
			ブーム最大地上高	m	14		16	—
		適用号機		001～		001～	001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	36±1		40±1	40±1
			ロータ回転数	回/min	—		—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)		(2000±50)	(2000±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(50±10)
			かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	38±1		39±1
	チェーンのたわみ	mm		10		10	10	
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)		(1950±50)		(2000±50)	(2000±50)	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		(—)	(—)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(50±10)
			真空ポンプ	圧力設定値	Pa	—		—
	(設定値到達時間)	(min)		(—)		(—)	(—)	
	圧力降下許容値	Pa		—		—	—	
			(保持時間)	(min)	(—)		(—)	(—)
			Vベルトのたわみ	mm	—		—	—
			シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1		1
	ブーム (2) シリンダ	mm		1		1	—	
	ブーム (3) シリンダ	mm		1		1	—	
	ブーム (4) シリンダ	mm		1		1	—	
	ブーム (5) シリンダ	mm		1		1	—	
	(測定時間)	(min)		(10)		(10)	(10)	
☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム装置	(作動計測条件)	[図面No.]	[無負荷]		[無負荷]	[—]	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 5]		[図 No. 5]	[図 No. —]	
		ブーム (1) 伸び	sec	50±3		50±10	—	
		縮み	sec	60±3		60±10	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	75±3		75±10	—	
		縮み	sec	85±3		85±10	—	
		ブーム (3) 伸び	sec	60±3		60±10	—	
		縮み	sec	55±3		55±10	—	
		ブーム (4) 伸び	sec	—		—	—	
		縮み	sec	—		—	—	
		ブーム (5) 伸び	sec	—		—	—	
		縮み	sec	—		—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)		(1200±50)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(—)	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1～3]		[図 No. 1～3]	[図 No. —]	
		洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	13.7		13.7
油圧	MPa			4.26		4.26	—	
水圧	m			10		10	—	
空圧機	吐出圧力		MPa	0.98		0.98	0.98	
	(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(1950±50)		(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(50±10)	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

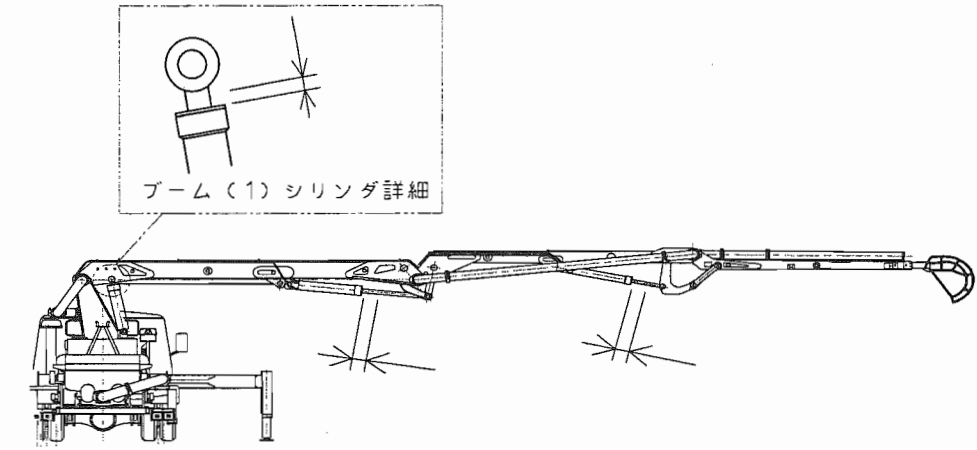
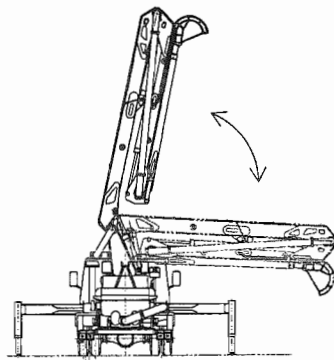
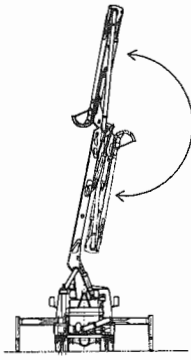
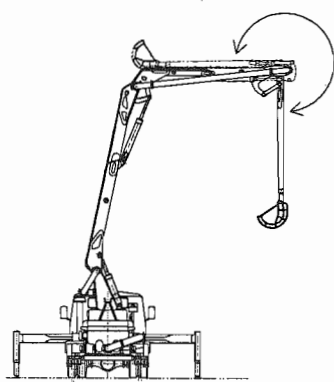
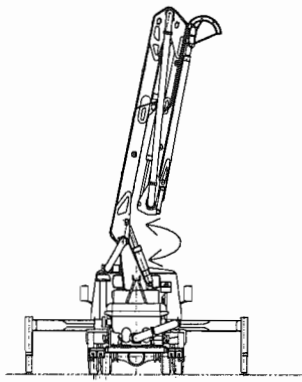
[illegible]

適用範囲		モデル名		MKW-35CB		MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動		平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35		55	55
			最大吐出圧力	MPa	40.9		42.6	42.6
			7'-M最大地上高	m	14		16	—
		適用号機		001～		001～	001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5		24.5	24.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	13.7		13.7	13.7	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7		13.7	13.7	
		ブーム油圧	MPa	20.6		20.6	20.6	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—		—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)		(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		(—)	(—)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(50±10)		
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	旋回台取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	350		350	—	
		旋回ベアリング取付け ボルトの締め付けトルク	N・m	350		350	—	
		旋回ボルトの交換周期	年	3		3	—	
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	40±5		40±5	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(90)		(90)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)		(2000)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)		(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)		(50±10)	(—)	
	☆ シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1		1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 6]		(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	
特記事項								

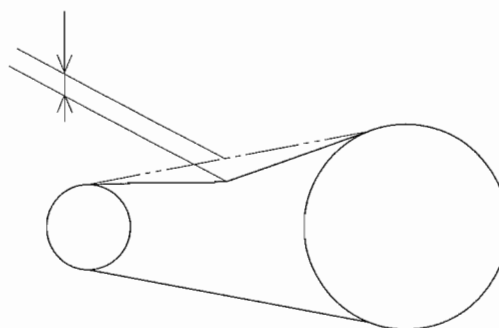
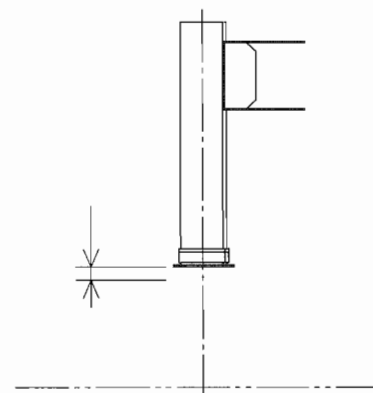
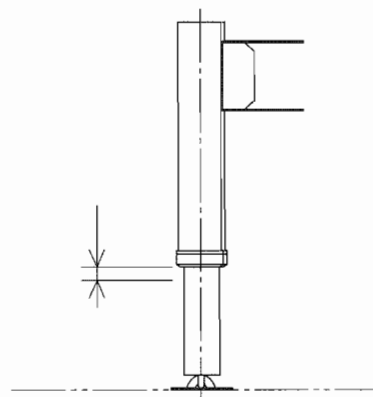
☆印：新車基準値を表す（参考値）。

検 査 基 準 値							

シンテック

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダ 自然降下	ブームはアウトリガーの真上の位置で、ブーム全体を水平に伸ばし10分間での各シリンダの自然伸縮量を測定する。  ブーム(1) シリンダ詳細	図-5 ブームシリンダの自然伸縮量測定
ブーム作動時間	No. 1シリンダのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 1 ブーム(1) 作動速度測定 	No. 2シリンダのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 2 ブーム(2) 作動速度測定 
	No. 3シリンダのフルストロークに要する時間を測定。 図 No. 3 ブーム(3) 作動速度測定 	旋回部と固定部にマーキングし旋回に要する時間を測定。 図 No. 4 ブーム(4) 作動速度測定 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダ 自然伸縮	ブームはアウトリガーの真上の位置で、最大伸長させ10分間にて測定。 (ブームは、最長に伸ばし、アウトリガーの上に位置した状態で測定する)	図 No. 6 アウトリガーシリンダ 自然短縮の測定
	ジャッキを最短縮させ3分後を基準とし10分間放置した後の値を測定。	図 No. 7 アウトリガーシリンダ 自然伸長の測定
		図 No. 8 チェーンたわみ量の測定



大 一 ・ テ ク ノ

適用範囲		モデル名		DCP-35SL	DCP-30G	DCP-30KL	DCP-40G
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h 35	30	30	40
			最大吐出圧力	MPa 1.6	1.5	1.5	1.6
			ブーム最大地上高	m 14	14.5	17	14.5
		適用号機		41001～	72001～	73001～	82001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	34	30	30	37
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		回転速度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5	60±5
	かくはん装置	チェーンのたわみ	mm	15	15	15	15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	真空ポンプ	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	シリンダ	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
		ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
		ブーム (3) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
		ブーム (4) シリンダ	mm	2	—	2	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
作業装置	ブーム	(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (1) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (2) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (2) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (3) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (3) 縮み	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		油圧	MPa	0.125	0.125	0.125	0.125
		水圧	MPa	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)

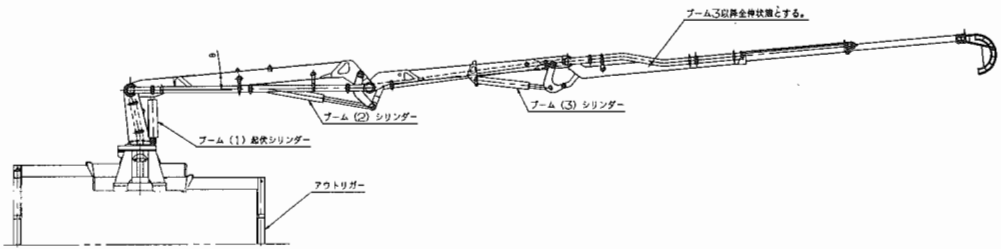
☆印：新車基準値を表す（参考値）。

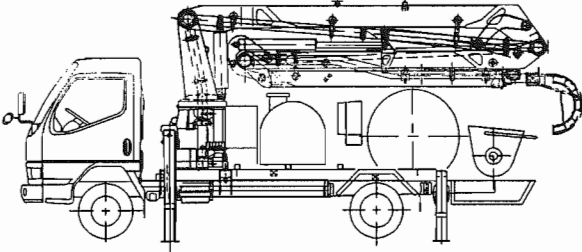
DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-45ML	DCP-X45	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
40	40	40	45	45	50	50	50
1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7
17	17	18.5	17	18.5	17	17	18.5
83001～	84000～	84100～	32000～	32040～	90215～	91000～	91030～
検 査 基 準 値							
— 37	— 37	— 37	— 38	— 38	— 38	— 38	— 38
(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)
60±5 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15	60±5 15
(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —	1.5 1.5 1.5 2 —
(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]	(10) [図 No. 1, 2]
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]
— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —	— 0.125 —
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		DCP-35SL	DCP-30G	DCP-30KL	DCP-40G	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	30	30	40
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.5	1.5	1.6
			アーム最大地上高	m	14	14.5	17	14.5
		適用号機		41001～	72001～	73001～	82001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20	20	20	21	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	7	7	7	7	
		ブーム油圧	MPa	20	18.5	20	18.5	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	—	—	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	—	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	
	特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-45ML	DCP-X45	DCP-50KL	DCP-50ML	DCP-X50
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
40	40	40	45	45	50	50	50
1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7
17	17	18.5	17	18.5	17	17	18.5
83001～	84000～	84100～	32000～	32040～	90215～	91000～	91030～
検 査 基 準 値							
21	21	23	24.5	24.5	20	20	21
—	—	—	—	—	—	—	—
7	7	7	7	7	7	7	7
20	20	20	20	20	20	20	20
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
485.5～534.5	485.5～534.5	436～485	485.5～534.5	436～485	485.5～534.5	485.5～534.5	436～485
343.4～382.6	343.4～382.6	436～485	343.4～382.6	436～485	343.4～382.6	343.4～382.6	436～485
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	(1) 測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2) 圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3) シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダー(4)はブーム縮み量を測定）。 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカーで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図-1 ブームシリンダ(1)～(3)の測定条件 (1) ブームは全伸長とする。 (2) 起伏角度が $2^{\circ} \sim 5^{\circ}$ とする。 (3) ブーム方向は車輪後方とする。 (4) 油温は $50^{\circ} \pm 5$ とする。
		図-2 ブームシリンダ(4)の測定条件 (1) ブーム 4 は全伸長とする。 (2) ブーム 3 角度を垂直にする。 (3) ブーム方向は車輪後方とする。 (4) 油温は $50^{\circ} \pm 5$ とする。

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダ 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。 注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図-3 アウトリガーシリンダーの測定条件 (1)ブームは走行姿勢とする。 (2)各アウトリガーを最大に張り出す。 (3)作動油温度は $50^{\circ} \pm 5^{\circ}$ とする。
		

新潟鐵工所

適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85
			7°A最大地上高	m	16	21	25
		適用号機		7B012～	10B001～	11B001～	11B001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27～29	38～42	36～40
			ロータ回転数	回/min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)
			(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	33～36	26～28	33～36
			チェーンのたわみ	mm	15	15	15
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)
			(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	ブーム装置	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—
		シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]
		☆ ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	30～40	55～60	55～60
			ブーム (1) 縮み	sec	75～85	75～80	75～80
			ブーム (2) 伸び	sec	50～55	55～60	55～60
			ブーム (2) 縮み	sec	80～90	65～70	65～70
			ブーム (3) 伸び	sec	25～35	35～40	35～40
			ブーム (3) 縮み	sec	35～40	55～65	55～65
			ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—
			ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—
			ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—
			ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (°C) [図面No.]	(1600) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧	MPa	9.81	17.2	9.81
			水圧	MPa	4.3	4.1	4.3
	空圧機	吐出圧力	飛距離	m	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (°C)	(1600) (2500) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

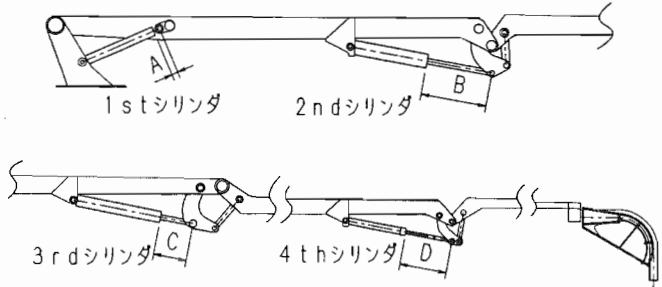
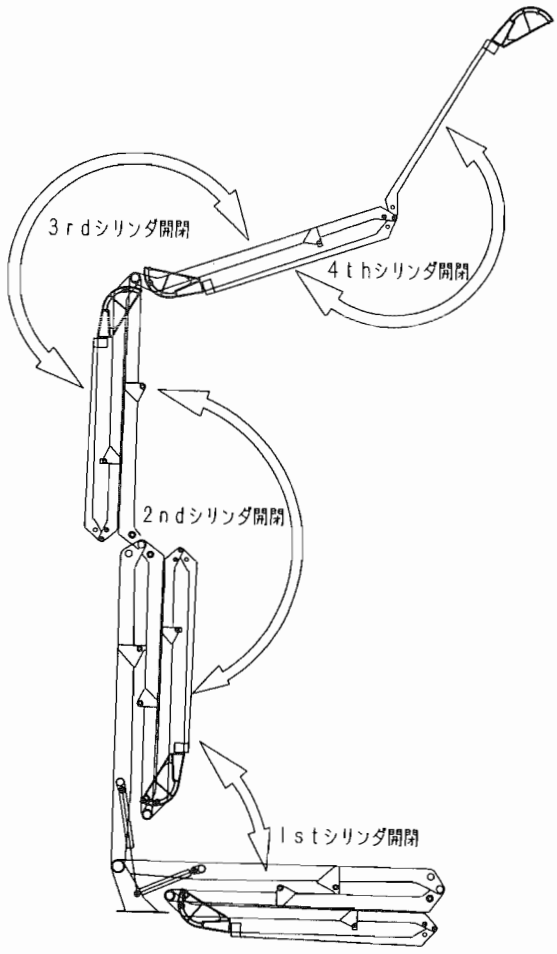
NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001～	11BL001～	～11BS054	11BS055～	12BT001～	13BU001～	9T001～	10T001～
検 査 基 準 値							
36～40 —	36～40 —	36～40 —	31～33 —	32～34 —	26～28 —	38～42 —	32～34 —
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(2165) (2500) (50 ± 5)
33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	26～28 15	33～36 15
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 — —	— — — — —
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]
40～50 110～125	60～65 110～115	60～65 190～220	60～65 190～220	75～82 190～220	85～90 220～240	— —	— —
45～50 90～100	60～65 105～110	80～90 150～180	80～90 150～180	80～90 150～180	95～100 190～200	— —	— —
40～45 75～85	40～45 80～85	55～65 100～120	55～65 100～120	55～65 100～120	80～90 130～140	— —	— —
15～20 55～65	— —	30～40 75～95	30～40 75～95	30～40 75～95	30～40 90～100	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	— — —	— — —
9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	17.2 4.1	9.81 4.3
0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)

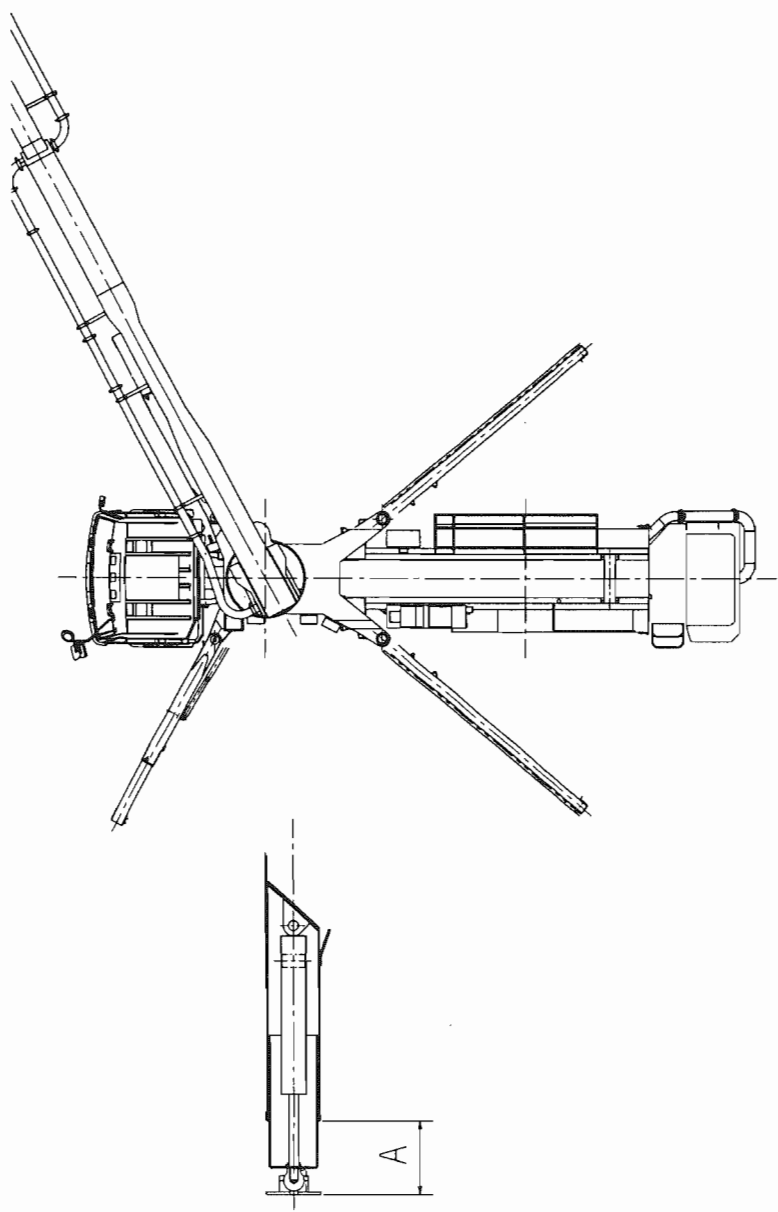
適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85	7.85
			ブーム最大地上高	m	16	21	21	25
		適用号機		7B012～	10B001～	11B001～	11B001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	34.3	30.9	34.3	34.3	
		弁シリンダ油圧	MPa	13.2	13.2	13.2	13.2	
		かくはんモータ油圧	MPa	6.87	8.34	6.87	6.87	
		ブーム油圧	MPa	31.39	27.47	27.47	30.9	
		ACC ガス封入圧力	MPa	7.2	7.2	7.2	7.2	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
車体・安全装置	☆旋回装置	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	160～180	120～140	120～140	140～160	
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)	
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5	0.5	0.5	0.5	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001～	11BL001～	～11BS054	11BS055～	12BT001～	13BU001～	9T001～	10T001～
検 査 基 準 値							
34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	30.9	34.3
13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	10.3	6.87
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	—	—
7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2165)
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2500)	(2500)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
3	3	3	3	3	3	—	—
160～180	280～300	340～380	340～380	340～380	380～400	—	—
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	—	—
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	—	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	—	[図 No. 3]

新潟鐵工所

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。 10分間の自然降下量をそれぞれ計測する。	図-1 ブームシリンダ自然降下量 
ブーム作動時間	次の順番にてブームシリンダ全ストローク作動時間を測定してください。 1、1st シリンダを伸ばす 2、2nd シリンダを伸ばす 3、3rd シリンダを縮める 4、4th シリンダを伸ばす 5、4th シリンダを縮める 6、3rd シリンダを伸ばす 7、2nd シリンダを縮める 8、1st シリンダを縮める 機種によりホースバスケットブームセクション等が干渉するものもありますので、充分注意して行ってください。 ブームフックは必ず外れていることを確認してください。	図-2 ブームシリンダ作動時間測定要領 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダ 自然伸縮	各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。 ブームは各アウトリガの真上に来る位置にする。 その状態で各アウトリガシリンダの10分間のAの縮み量を測定する	図-3 アウトリガシリンダ自然降下量要領 

プツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28.16H	BSF36.15H
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³	69(47)	69(47)	160(108)
			最大吐出圧力	MPa	15(22)	15(22)	8.5(13)
		適用号機		21970105302～	2199010305～	210101006～	2197010001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	18	18	30
			ロータ回転数	回/min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1760±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	真空ポンプ	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	42±1	40±1	39±1
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1760±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	ブーム装置	シリンダ	圧力設定値	kPa	—	—	—
			(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
			圧力降下許容値	kPa	—	—	—
			(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)
	シンダ	自然降下量	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—
			ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下
			ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下
			ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下
	ブーム装置	☆ブームシリンダ	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	1.5 以下
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(10)
			(作動計測条件)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]		[図 No. 1]	[図 No. 1]
	洗浄装置	水ポンプ	吐出圧力	MPa	—	—	—
		(配管洗浄用)	油圧	MPa	—	—	—
			水圧	MPa	—	—	—
			飛距離	m	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	0.7	0.7	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(2670)	(2600)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(1800±50)	(1760±50)
			(作動油温度)	(℃)	(—)	(50±10)	(50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。 注－1：高速モード

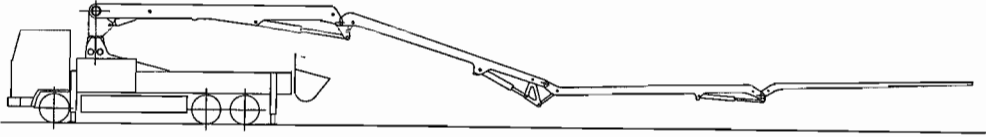
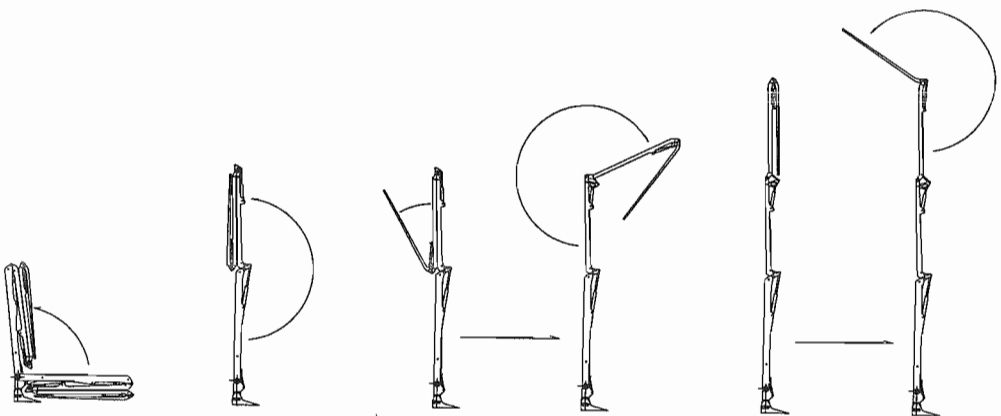
BSF36. 15H	BSF36. 15H	BSF36. 16H	BSF42. 16H	BSF46. 16H	BSF52. 15H	BSF52. 16H	
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
150	150	160	160	160	150	160	
8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
36(巻込式)	36(Z式)	36(Z式)	42	46	52	52	
210100341~	210100936~	210101172~	2199010326~	210102285~	2195010001~	210101985~	
検 査 基 準 値							
28 —	28 —	30 —	30 —	30 —	28 —	30 —	
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	
41±1 —	40±1 —	40±1 —	39±1 —	40±1 —	40±1 —	40±1 —	
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2595) (1710±50) (50±10)	(2665) (1800±50) (50±10)	(2600) (1750±50) (50±10)	(2680) (1800±50) (50±10)	
— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	
—	—	—	—	—	—	—	
1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 —	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 —	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 —	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 —	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下	1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.5 以下	
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. -]	(10) (—) [図 No. -]	(10) (—) [図 No. -]	
70±10 71±10	78±10 81±10	82±10 82±10	87±10 97±10	89±10 95±10	103±10 110±10	119±10 117±10	
95±10 98±10	102±10 102±10	96±10 96±10	117±10 140±10	131±10 141±10	157±10 170±10	154±10 154±10	
65±10 66±10	85±10 86±10	85±10 85±10	78±10 83±10	103±10 106±10	175±10 190±10	160±10 162±10	
45±10 46±10	51±10 58±10	55±10 59±10	55±10 61±10	93±10 96±10	80±10 85±10	80±10 83±10	
— —	— —	— —	— —	45±10 46±10	60±10 65±10	56±10 56±10	
(2750) (50±10) [図 No. 2]	(2700) (50±10) [図 No. 2]	(2700) (50±10) [図 No. 2]	(2595) (50±10) [図 No. 2]	(2665) (50±10) [図 No. -]	(2600) (50±10) [図 No. -]	(2680) (50±10) [図 No. -]	
— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	
0.7	0.7	0.7	—	—	—	—	
(2750) (1500±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(2700) (1530±50) (50±10)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(2680) (1800±50) (50±10)	

適用範囲		モデル名		BSF2107HP	BSF2107HP	BSF28. 16H	BSF36. 15H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	69(47)	69(47)	160(108)	150
			最大吐出圧力	MPa	15(22)	15(22)	8. 5(13)	8. 5
			ブーム最大地上高	m	—	—	28	36
		適用号機		21970105302～	2199010305～	210101006～	2197010001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	36±1	36±1	36±1	35±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	19±1	19±1	19±1	25±1	
		かくはんモータ油圧	MPa	16±1	16±1	16±1	25±1	
		ブーム油圧	MPa	—	—	35±1	35±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	9±0. 5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2800)	(2670)	(2600)	(2600)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1900±50)	(1800±50)	(1760±50)	(1750±50)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締め付け	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	—	—	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	103±15	140±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360)	(365)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2600)	(2600)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1760±50)	(1750±50)	
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(50±10)	(50±10)	
	アウトリガー シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1. 0以下	1. 0以下	1. 0以下	1. 0以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

BSF36. 15H	BSF36. 15H	BSF36. 16H	BSF42. 16H	BSF46. 16H	BSF52. 15H	BSF52. 16H	
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
150	150	160	160	160	150	160	
8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
36(巻込式)	36(Z式)	36(Z式)	42	46	52	52	
210100341～	210100936～	210101172～	2199010326～	210102285～	2195010001～	210101985～	
検 査 基 準 値							
32±1	34±1	36±1	36±1	36±1	35±1	36±1	
19±1	19±1	19±1	19±1	19±1	25±1	19±1	
16±1	16±1	16±1	16±1	16±1	25±1	16±1	
35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	35±1	
9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	9±0.5	
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
—	—	—	880	880	1750	1750	
—	—	—	880	880	1750	1750	
—	—	—	3	3	3	3	
140±15	135±15	133±15	160±15	177±15	220±15	218±15	
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	
(2750)	(2700)	(2700)	(2595)	(2665)	(2600)	(2680)	
(1500±50)	(1530±50)	(1530±50)	(1710±50)	(1800±50)	(1750±50)	(1800±50)	
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以下	
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	
[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	

プツマイスタージャパン

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下		図-1 ブームシリンダ自然降下量測定姿勢 (下図参照) 
ブーム作動速度		図-2 ブーム作動速度測定姿勢  ブーム (1) ブーム (2) ブーム (3) ブーム (4) ブーム (4) を少し開いて行う (リンクとの干渉を避ける為) ブーム (4) を僅か開いたところからスタート (リンクとの干渉を避ける為)

三菱重工業

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M700BD	DC-M650BD-516	DC-M650BD-418
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準70、高圧45	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	4.8
			ブーム最大地上高	m	16	16	18
		適用号機		6701～	5801～	6501～	6001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	28.5±1.0	28.5±1.0	29.0±1.0	29.0±1.0
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2050±50)	(2050±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2300±50)	(2300±50)	(2170±50)	(2170±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	40±2	40±2	40±2	40±2
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2300±50)	(2170±50)	(2170±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	シリンダ	ブーム (1) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (2) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (3) シリンダ	mm	2	2	2	2
	自然降下量	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
	☆ブームシリンダ 作動時間	(作動計測条件)	[図面No.]	[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	20±5/90°	20±5/90°	21±5/90°	21±5/90°
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 縮み	sec	43±5/90°	43±5/90°	50±5/90°	50±5/90°
		ブーム (2) 伸び	sec	43±5/180°	43±5/180°	50±5/180°	50±5/180°
		ブーム (2) 縮み	sec	45±5/180°	45±5/180°	55±5/180°	55±5/180°
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (3) 伸び	sec	30±5/265°	30±5/265°	40±5/246°	40±5/246°
		ブーム (3) 縮み	sec	60±5/265°	60±5/265°	75±5/246°	75±5/246°
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ 作動時間	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	23.5	23.5	31.3	31.3
		油圧	MPa	標準4.8、高圧7.9	標準4.8、高圧7.9	1.8	1.8
		水圧	MPa	—	—	—	—
	空圧機	飛距離	m	—	—	—	—
		吐出圧力	MPa	0.98±0.25	0.98±0.25	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
	空圧機	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-A1000BS	DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26	DC-SL1100BM-M26
板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準107、高圧74 標準5.4、高圧8.2	標準107、高圧74 標準5.4、高圧8.2
21	21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	25.9
12050～	10501～	14001～	30001～	31001～	32001～	33001～	34001～
検 査 基 準 値							
32.0±1.0	32.0±1.0	32.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)
39±2 —	39±2 —	39±2 —	38±2 —	38±2 —	38±2 —	45±2 —	45±2 —
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
32±5/90° 60±5/90°	32±5/90° 60±5/90°	32±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	48±5/90° 71±5/90°	54±5/90° 71±5/90°
75±5/210° 75±5/210°	75±5/210° 75±5/210°	75±5/210° 75±5/210°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	103±5/180° 81±5/180°	80±5/180° 81±5/180°
43±5/270° 86±5/270°	43±5/270° 86±5/270°	43±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	65±5/270° 88±5/270°	65±5/270° 88±5/270°
— —	— —	— —	— —	— —	— —	29±5/220° 63±5/220°	29±5/220° 63±5/220°
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]
23.5 標準4.8、高圧7.9 —	23.5 標準4.8、高圧7.9 —	23.5 標準4.8、高圧7.9 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —
0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M700BD	DC-M650BD-516	DC-M650BD-418	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	標準70、高圧45	65	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	4.8	4.8
			ブーム最大地上高	m	16	16	18	18
		適用号機		6701～	5801～	6501～	6001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.0±0.5	24.0±0.5	32.0±0.5	32.0±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	24.0±0.5	24.0±0.5	32.0±0.5	32.0±0.5	
		かくはんモータ油圧	MPa	17.6±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)	
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2000±50)	(2170±50)	(2170±50)		
(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550±50)	(1550±50)	(2170±50)	(2170±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(2000±50)	(2170±50)	(2170±50)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	2	2	2	2	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-A1000BS	DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26	DC-SL1100BM-M26
板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準107、高圧74	標準107、高圧74
標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準5.4、高圧8.2
21	21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	25.9
12050～	10501～	14001～	30001～	31001～	32001～	33001～	34001～
検 査 基 準 値							
24.0±0.5	24.0±0.5	24.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5
24.0±0.5	24.0±0.5	24.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5
15.8±0.5	15.8±0.5	15.8±0.5	15.8±0.5	15.8±0.5	15.8±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5
27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
—	—	—	—	—	—	—	—
258.7	258.7	258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
3	3	3	3	3	3	3	3
27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	46±2.5/90°	46±2.5/90°
(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)	(2000±50)
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
2	2	2	2	2	2	2	2
15	15	15	15	15	15	15	15
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]

三菱重工業

適用範囲		モデル名		DC-SL1100BDH-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR	DC-L1000BD
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準80、高圧52	標準100、高圧60	標準100、高圧60
			最大吐出圧力	MPa	標準7.0、高圧11.8	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4
			ブーム最大地上高	m	25.9	30.6	30.6
		適用号機		35001～	20001～	21001～	22001～22090
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	27.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0	26.0±1.0
		ロータ回転数	回/min				
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	41±2	42±2	42±2	42±2
		チェーンのたわみ		—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (2) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (3) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (4) シリンダ	mm	2	—	—	—
	ブーム ☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
	洗浄装置	ブーム (1) 伸び縮み	sec sec	54±5/90° 71±5/90°	58±5/90° 92±5/90°	58±5/90° 92±5/90°	58±5/90° 92±5/90°
		ブーム (2) 伸び縮み	sec sec	80±5/180° 81±5/180°	130±5/180° 100±5/180°	130±5/180° 100±5/180°	130±5/180° 100±5/180°
		ブーム (3) 伸び縮み	sec sec	65±5/270° 88±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°
		ブーム (4) 伸び縮み	sec sec	29±5/220° 63±5/220°	— —	— —	— —
		ブーム (5) 伸び縮み	sec sec	— —	— —	— —	— —
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)
		(作動油温度)	(°C)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)
		(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	26	26	26	26
		油圧水圧 飛距離	MPa m	標準7.1、高圧11.7 —	標準4.6、高圧7.8 —	標準4.6、高圧7.8 —	標準4.6、高圧7.8 —
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

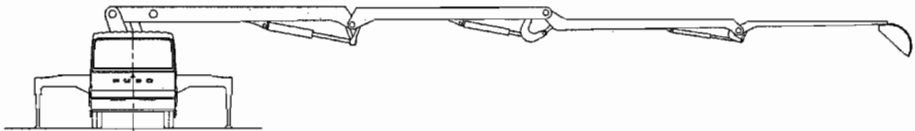
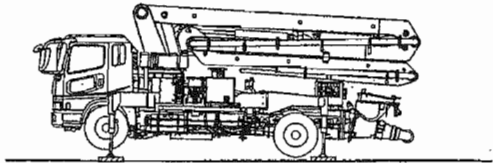
DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BM-M33	DC-L1100BM-M33			
スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ			
標準100、高圧60	標準107、高圧69	標準107、高圧7.4	標準107、高圧69	標準107、高圧69			
標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5			
30.6	32.6	32.6	32.6	32.6			
22091～	40001～40091	40092～	42001～42004	42005			
検 査 基 準 値							
26.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0	27.0±1.0			
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)			
42±2 —	42±2 —	42±2 —	45±3 —	45±3 —			
(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (2000±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)	(1800±50) (1900±50) (50±5)			
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			
—	—	—	—	—			
2 2 2 — —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —	2 2 2 2 —			
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]			
58±5/90° 92±5/90°	62±5/90° 98±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	65±5/90° 92±5/90°	65±5/90° 92±5/90°			
130±5/180° 100±5/180°	140±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°	110±5/180° 110±5/180°			
75±5/270° 100±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°	85±5/270° 115±5/270°			
— —	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°	35±5/220° 75±5/220°			
— —	— —	— —	— —	— —			
(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]	(1800±50) (50±5) [図 No. 3]			
26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	28.4 標準5.0、高圧7.6 —			
0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25	0.98±0.25			
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)			

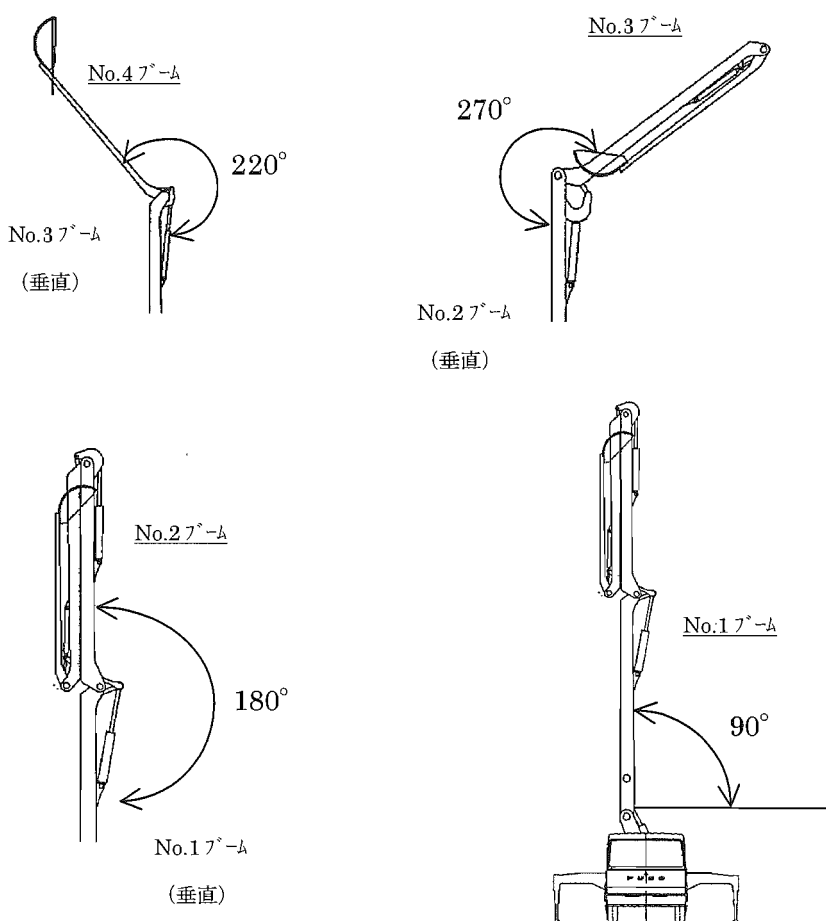
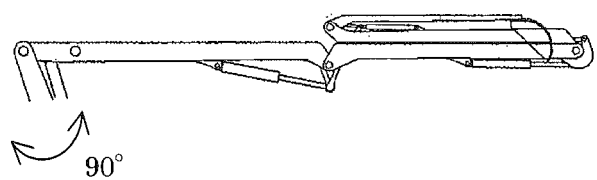
適用範囲		モデル名		DC-SL1100BDH-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR	DC-L1000BD	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	板弁	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準80、高圧52	標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧60
			最大吐出圧力	MPa	標準7.0、高圧11.8	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4
			ブーム最大地上高	m	25.9	30.6	30.6	30.6
		適用号機		35001～	20001～	21001～	22001～22090	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	26.0±0.5	
		かくはんモータ油圧	MPa	16.2±0.5	16.2±0.5	17.6±0.5	16.2±0.5	
		ブーム油圧	MPa	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの締め付け	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	—	—	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	495.9	495.9	495.9	495.9	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	46±2.5/90°	42.5 ^{+2.5} _{-4.5} /90°	42.5 ^{+2.5} _{-4.5} /90°	42.5 ^{+2.5} _{-4.5} /90°	
		(旋回作動角度)	(度)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	(1650±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1830±50)	(1850±50)	(1850±50)	(1850±50)	
	(作動油温度)	(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)		
	☆シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	2	2	2	2	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	15 [図 No. 2]	
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BD-M33	DC-L1100BM-M33	DC-L1100BM-M33			
スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ			
標準100、高圧60	標準107、高圧69	標準107、高圧69	標準107、高圧69	標準107、高圧69			
標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5			
30.6	32.6	32.6	32.6	32.6			
22091～	40001～40091	40092～	42001～42004	42005～			
検 査 基 準 値							
26.0±0.5	26.0±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5			
26.0±0.5	26.0±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5	28.4±0.5			
16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5	16.2±0.5			
27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5	27.4±0.5			
—	—	—	—	—			
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)			
(2000±50)	(2000±50)	(1900±50)	(1900±50)	(1900±50)			
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
—	—	—	—	—			
495.9	495.9	495.9	495.9	495.9			
3	3	3	3	3			
42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	45 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	60 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	60 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	60 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°			
(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)	(360全旋回)			
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)			
(2000±50)	(2000±50)	(1900±50)	(2000±50)	(2000±50)			
(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
2	2	2	2	2			
15	15	15	15	15			
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]			

三菱重工業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	No. 1ブーム～No. 4ブームまで 水平に伸ばして計測する。 10分間のシリンダ伸縮量を計 測する。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 
アウトリガシリンダ 自然伸縮	ブームを収納状態にし、アウ トリガを張出し、15分間の自 然伸縮量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然伸縮計測姿勢 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	各シリンダを下図の姿勢で、それぞれの角度を作動する時間を計測する。	図-3 ブーム作動時間計測姿勢 
旋回作動速度	ブームを下図の姿勢にして90° 旋回時の作動時間を計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢 

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

平成12年 3 月 初版発行
平成18年 1 月 改訂A版発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)
電 話 03-3221-3661
FAX 03-3221-3665
URL <http://www.sacl.or.jp>

禁無断転載

印刷 (株)東京技術協会 (10)



SS-CP-01-A

